

平成28年度 帯広市立緑丘小学校 全国学力学習状況調査結果と考察

1 調査の概要

(1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

また、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 期日 平成28年4月19日（火）

(3) 対象 第6学年

(4) 内容

① 教科に関する調査（国語、算数）

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none">・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に常用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など

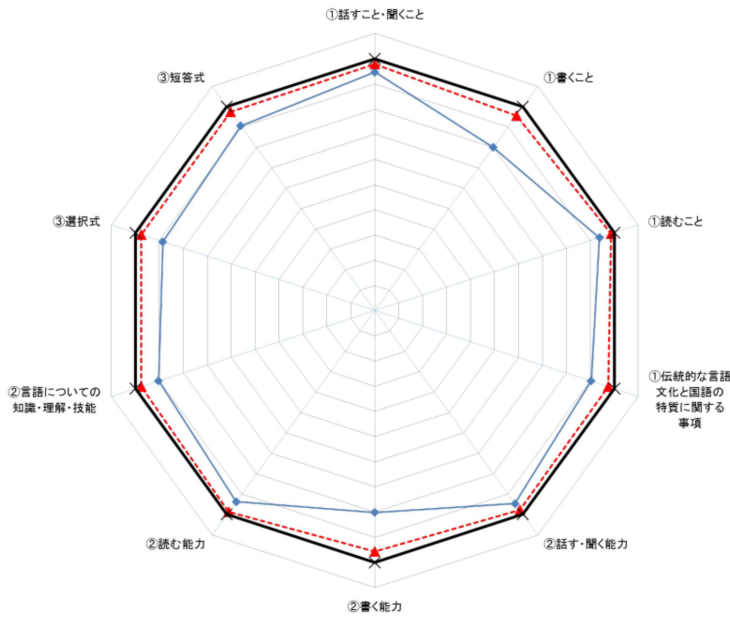
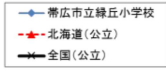
② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況等に関する調査

2 学力調査の結果

(1) 各教科の概観

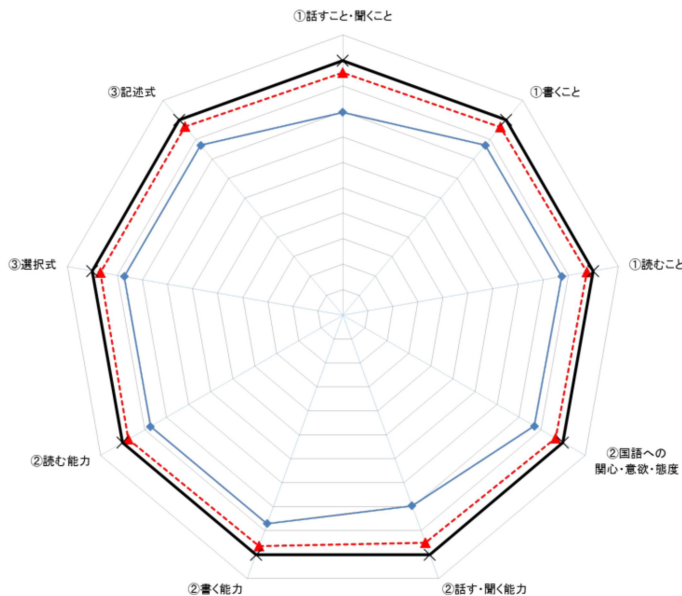
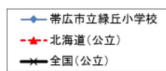
① 国語A



グラフは、全国平均正答率（黒線）を100としたときの全道（赤線）と本校（青線）を示しています。

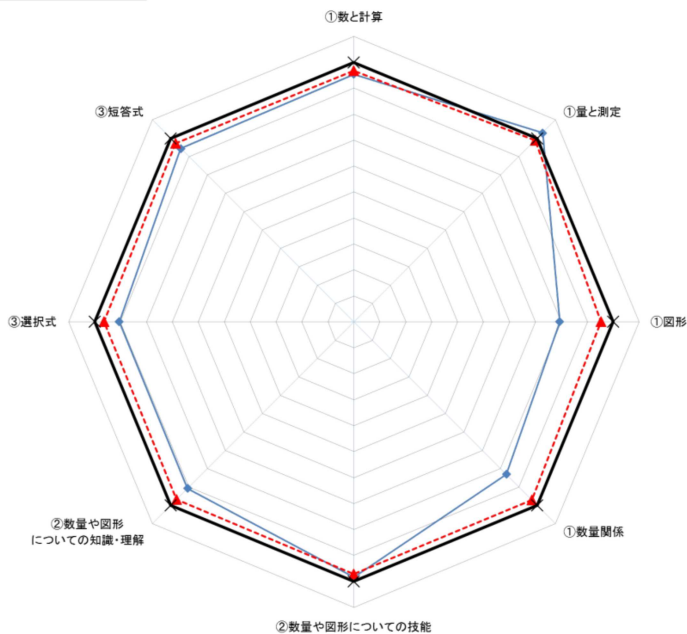
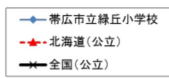
- 平均正答率は全国平均・全道平均をやや下回った。
- 「漢字を読む」問題は、3問全てで全国・全道を上回ったが、「漢字を書く」問題では3問とも下回った。
- 「書くこと」領域での正答率が低く、特に書く事柄を整理したり、書き上がった文章を推敲したりする設問の正答率が低かった。
- ローマ字の読み書きは全国・全道ともに低い傾向が見られたが、本校はさらに下回っている。

② 国語B



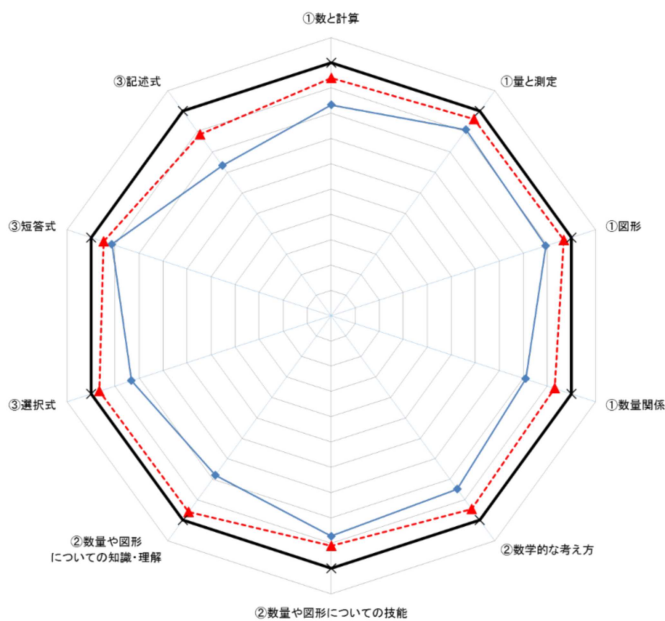
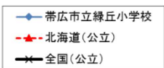
- 平均正答率は全国平均・全道平均を下回った。
- ほとんどの領域で全国・全道を下回っており、特に「話すこと・聞くこと」領域の正答率が低かった。
- 「目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く」設問では、全国・全道を上回った。

③ 算数A



- 平均正答率は、全国平均・全道平均をやや下回った。
- 「量と測定」領域では全国・全道を上回った。「くり下がりのある減法」「分数の約分」「三角形の底辺と高さの関係」といった設問の正答率は、全国・全道を上回った。
- 「除法の規則性」「立体の面と面の位置関係」といった設問の正答率が低かった。
- 全般的に、問題文が長くなると正答率が低くなり、その傾向は全国・全道より顕著であった。

④ 算数B



- 平均正答率は、全国平均・全道平均を下回った。
- 「図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断する」設問の正答率が、全国・全道と比べて高かった。
- 「数と計算」「数量関係」領域の正答率が低かった。
- 記述式の解答を求められる設問では全国・全道ともに低い傾向が見られたが、本校はさらに下回っている。

2 学習状況調査の結果

(1) 基本的な生活習慣

「朝食を毎日食べている」と答えた児童は76.3%であり、全国を10ポイント以上下回っている。また、過去3年の本校の結果と比べても5～10ポイント低い。

「毎日同じくらいの時刻に起きている」と答えた児童は46.3%、これも全国を10ポイント以上下回った。

(2) テレビ・ビデオ・DVD

「月～金曜日にテレビ・ビデオ・DVDを4時間以上見たり聞いたりする」児童は16.3%と、全国と同様である。「2時間以上」の児童の合計は63.8%で全国より多いが、過去3年の本校の結果と比べると大きく改善されている。

(3) テレビゲーム（コンピュータ、スマートフォンなどを使ったものも含む）

「月～金曜日に4時間以上する」児童は8.8%、「2～4時間する」児童は27.5%で合わせて36.3%である。全国より多いものの全道より少なく、過去3年の本校の結果と比べて最も少ない結果となった。

また、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間も全国・全道より短く、昨年度の本校と比べて大きく改善された。

(4) 家庭学習

「学校の授業時間以外に、月～金曜日にどれくらいの時間勉強しますか」の設問に「全くしない」と答えた児童はいなかった。全国で3%、全道でも2.6%いる。「3時間以上する」と回答した児童は8.8%で、全道よりも多かった。

「土日など学校が休みのときに1時間以上する」児童は47.6%で、全道より10ポイント程度少ない。

「家で学校の宿題をしている」に「全くしていない」と答えた児童は0%。全国が0.6%、全道が0.9%であった。

「家で学校の予習をしている」には、「している」「どちらかといえばしている」と答えた児童は27.5%、「復習をしている」「どちらかといえばしている」と答えた児童は47.6%であった。全国より少なく全道より15ポイント程度少ない。

(5) 読書

「読書は好きですか」に「当てはまる」と答えた児童は66.3%であり、全国・全道より15%以上多い結果となった。「月～金曜日に1時間以上する」児童は17.6%で、全国・全道より若干多い。一方「10分より少ない」「全くしない」児童は48.8%、全国・全道と同様であった。

(6) 地域との関わり

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という設問に「当てはまらない」と答えた児童は38.8%であり、全国より24.8ポイント、全道より20ポイント少ない。

一方「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という設問に「当てはまる」と答えた児童は46.3%であり、全国より13ポイント、全道より14.7ポイント多い。また、「新聞を読んでいますか」に「ほぼ毎日読んでいる」と答えた児童は16.3%であり、全国・全道より7ポイント程度多い。

(7) 人とのかかわり

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に「当てはまらない」と答えた児童は0%であった。いじめを許さない強い心が、児童全員に育っていることがわかる。全国・全道では1~2%の回答が見られている。

「友だちとの約束を守っている。」「人が困っているときは、進んで助けている。」「人の役に立つ人間になりたいと思っている。」への回答は、全国・全道と同様かやや下回った結果となったが、昨年度までの本校と比べて高い結果であった。。

(8) 学校生活

「学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか。」に「そう思わない」と答えた児童は0%であった。全国・全道では1%程度の回答が見られる。

「学校へ行くのは楽しいと思いますか」に「そう思わない」と答えた児童は2.5%であった。全国4.3%、全道5.4%と比べると低い数字ではあるが、改善が必要である。

「学校で、好きな授業がありますか」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた児童は96.3%、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は92.5%であった。どちらも全国・全道を上回っている。

(9) 授業の様子

「当てはまる」が全国を5ポイント以上上回っていた質問項目

- ・「総合的な学習の時間」の勉強が好きだ。
- ・「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立て調べて発表していた。
- ・授業の中で自分たちで立てた課題を考え、自分から取り組んでいた。
- ・授業の中で、目標（ねらい）が示されていた。
- ・授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていた。
- ・ノートに、学習の目標（ねらい）とまとめを書いていた。

「当てはまる」が全国を5ポイント以上下回っていた質問項目

- ・自分から発表していた。
- ・話し合う活動をよく行った。話し合い活動で自分の考えを深めたり広げたりした。
- ・相手の考えをしっかりと聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた。

3 学力・学習状況の改善に向けて

- (1) 全国学力状況調査、webチャレンジテストの各教科・単元・設問別の解答状況をつぶさに分析し、全学年で日常の授業に生かします。
特に、設問の文章の読み取りや文章記述による解答など、習得した基礎的事項を活用する問題に習熟するよう指導します。
- (2) TTと習熟度別少人数指導、授業改善推進教員との連携により、児童の学ぶ意欲を引き出しながら学習内容の定着を図ります。
特に基礎的な学習事項については、どの児童にも定着させるよう個に応じた指導を進めます。
- (3) 授業のねらいを明確にし、振り返りで授業内容を定着させる授業を徹底します。また、補足的な学習や家庭学習について研究し、活性化します。
- (4) 学年研修などでの教員の交流を活性化し、授業力向上を進めます。
- (5) 職員会議や校内研究の機会を通じ、学習規律の徹底と家庭学習の仕方について指導方法を確認し、児童に指導します。
- (6) 校内研究では、算数科の指導に焦点を当て、授業改善を進めるとともに児童の意欲と能力の向上を図ります。
- (7) PTAと連携して、家庭での学習習慣・生活習慣向上を促します。